

# マリンレジャー安全レポート

第七管区海上保安本部  
マリンレジャー安全推進室  
Tel 093-321-2931(担当：橋本)  
E-mail:kyuunan7-j7vj2@kaiho  
.mlit.go.jp

## 揚錨時の事故

### 事例

Aさんは、プレジャーボートに1人乗船し、玄海町の沖合約250mに錨を入れて釣りを楽しんでいました。昼過ぎ、場所移動のため錨を揚げようとしたが、錨が海底にひっかかったため、エンジンを使って錨を違う方向に引いた際、バランスを崩し海中転落してしまいました。船はそのままグルグルと旋回し続けたため、Aさんは船に戻れなくなってしまいました。幸い、Aさんはライフジャケットを着用していたので、自力で

近くの磯にたどり着くことができました。また、陸上から無人で走る船を発見した方が118番通報し、Aさんは巡視船により救助されるとともに、巡視船の搭載艇から海上保安官が無人航走船に飛び移り、船についても無事確保されました。

### 事例からの教訓

今回の事故は、ライフジャケットを着用していたため助かった好事例です。

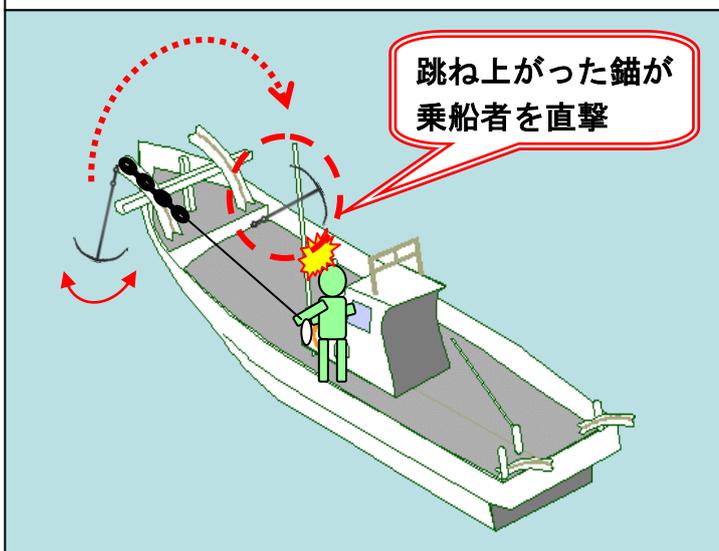
ところで、七管区において、小型船が揚錨作業時に発生した事故について調べてみたところ、今年はいくつか、次のような事故が発生しています(小型の漁船を含む。)

投錨・揚錨の作業は危険が伴いますので十分注意をしてください。

- ① アンカーロープや巻き揚げ用ローラに誤って手や足を挟んでけがをしたもの。(3件)
- ② 船を前後進させて錨を揚げようとし、バランスを崩して海中転落又は転覆したもの。(各1件)
- ③ 錨をローラを使って揚げる際、最終段階で巻き上げスピードを落とさなかったため、錨が跳ねて頭部に当たり死亡したもの。(1件:下図参照)



## 揚錨作業時の事故に注意!



平成23年9月、漁船が船橋横に設置されたローラを使用して、揚錨作業をしていたところ、ローラの巻き取り速度を落とすことなく最後まで巻き揚げたため、アンカーがアンカー架台まで巻き揚げた際に跳ね上がり、乗船者の頭部を直撃し亡くなる事故が発生しました。

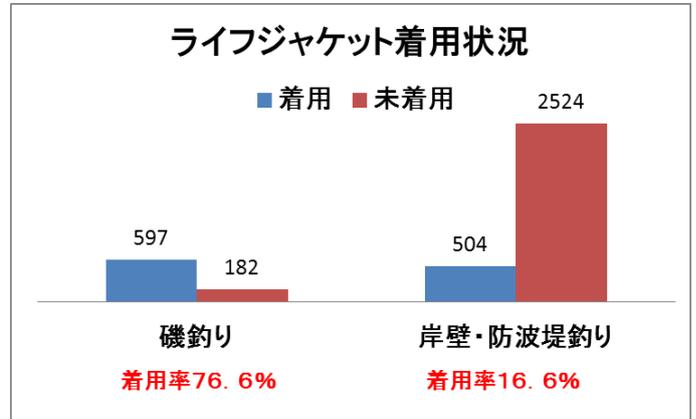
ローラやウィンチを使用してアンカーを巻き上げる際は、アンカーの状態に注意して、状況に応じたローラ操作を行い、同種事故防止に努めてください。

## ◎釣り愛好者安全指導期間におけるライフジャケット着用状況調査結果

第七管区では、10月1日(土)から10月16日(日)までの間を「釣り愛好者安全指導期間」と定め、海上保安官が釣りの現場を回り、釣り愛好者に対し海難防止指導・啓発を行うとともに、合わせて自己救命策3つの基本についての調査を実施しましたのでその結果についてお知らせします。

### ① ライフジャケットの常時着用

磯釣りは足場が悪く本格派の人向け、岸壁・防波堤釣りは装備も簡単でシロウト向け・・・という認識があるのでしょうか。ライフジャケットの着用率は右の表のとおり、大きな差がありました。前号でも紹介しましたが、岸壁や防波堤は思った以上に危険な場所です。ライフジャケットを着用するようにしましょう。



### ② 防水パック入り携帯電話等の連絡手段の確保

調査対象者807名で携帯電話所持率は94.1%と高く、その内、防水パック所持率は13.8%でした。

### ③ 海のももは「118番」

118番を回すと海上保安庁に繋がることを知っていた人は、磯場で91.7%、岸壁や防波堤では84.3%でした。

平成23年9月プレジャーボート等海難発生隻数	
計24隻	
衝突	4
乗揚	2
浸水	2
推進器障害	2
機関故障	8
運航障害	4
安全障害	1
その他	1
マリンレジャーに伴う海浜事故者数	
合計 14人(2人)	
遊泳中	1(1)
釣り中	4(1)
磯遊び中	9(0)
※( )内は死亡・行方不明者数	

